

社長メッセージ



代表取締役社長

奇藤 恭彦

お客さまや社会の課題解決に資する製品提供に 当社の力を結集し、持続的な成長を実現してまいります

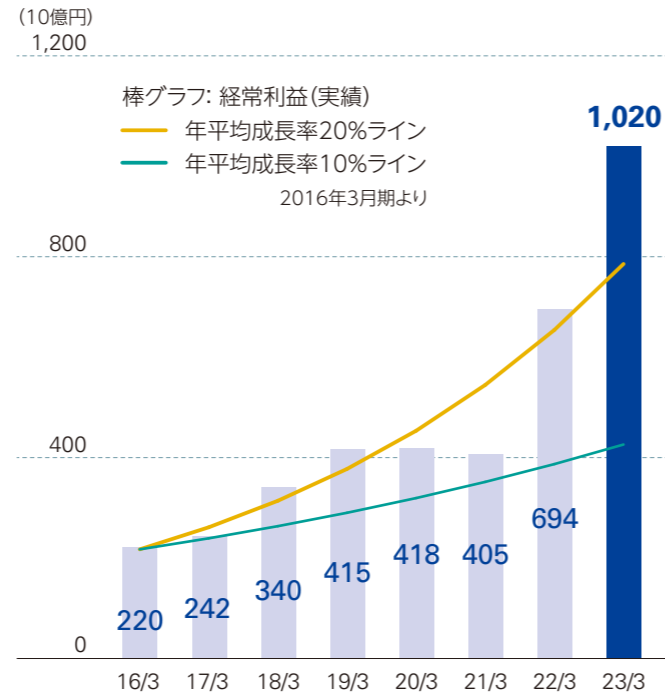
当社の強みを発揮して歴史的な成長を達成

当社は2023年3月期(2022年度)の決算で、これまでの実績を大幅に塗り替える歴史的な成長を達成しました。この成果は、製品構成、技術力、事業を推進する力、そして熟達した人財など、当社が長年にわたり培ってきた力によるものです。売上、利益、そして主要な経営指標において記録を塗り替えるとともに、持続可能な社会の実現にも貢献することができました。

株主還元と今後の成長について

この実績により財務基盤もより一層強化されましたので、年間配当金を一株当たり500円とすることとし公表しました(株式分割前)。これは前年に対して25%の増配で、当社の歴史の中で最も高い配当金になります。株主の皆さまによる日頃のご理解とご支援に対し、心からの感謝の気持ちを表すものです。

経常利益



株主や投資家の皆さまは、この歴史的な利益水準の維持と成長に関心をお持ちと拝察します。この点につきまして、私たちはお客さまの課題解決に資する製品を提供することを使命とし、そこに力を集中していますことをお伝えします。当社は、お客さまの課題の解決への取り組みを絶え間なく進めています。変革が急速に進展しお客さまからの要請はますます高まっていますが、この状況は当社の成長への好機ととらえています。これまでも増してお客さまとの協働を進め、お客さまのご要望やご期待にお応えしてまいります。最高水準の品質、技術、サービスの提供を通じて、全てのお客さまから最も信頼されるサプライヤーとご評価いただけるよう、なお一層の努力を続けてまいります。

各事業セグメントの現況と見通し

各事業セグメントの見通しや現在の取り組みについてご説明いたします。

■ 生活環境基盤材料事業

塩ビ事業が有する生産能力とコスト競争力をさらに磨き上げ、その強みを生かしながら製品の用途をさらに拡大していきます。とりわけ社会的な要請の高まっている環境保全に資するインフラストラクチャー向け素材の強化に注力します。同時に製造過程における温室効果ガス排出量の削減を進めてまいります。

■ 電子材料事業

半導体デバイスの需要は、これからも拡大していきます。その成長は数量の面だけでなく質の面でも進展しており、当社は引き続き生産能力の増強と製品の開発に力を注ぎます。また、進化を続けるデバイスの新しい製造方法に、当社が培ってきた専門知識とノウハウを生かしてまいります。あらゆるものの電化が急速に進展し、グリーントランスフォーメーションは不可逆的です。この分野でも私たちは化学の力を余すことなく活用することで、お客さまと産業の発展に貢献してまいります。主要国では経済の安全保障に舵を切り始めました。こうした事業環境の中で私たちは重要な使命を果たしていく所存です。

■ 機能材料事業

当社はこの事業では多岐にわたる分野に新しい製品を投入することに加え、お客さまのご要望にお応えできる力をさらに研鑽してまいります。これからも産業や市場との接点をさらに増やすことで、当社の販売領域のさらなる拡大を図ります。製品の開発に一層注力し、当社の製品が用いられれば用いられるほど、産業や人々の暮らしがより良いものとなるよう努めてまいります。

■ 加工・商事・技術サービス事業

このセグメントの事業は、当社グループ内のシナジー効果を高めることに貢献しています。

社会の皆さまのよきパートナーとして

当社は本年5月、カーボンニュートラル計画を発表しました。持続可能な社会の実現に向けて、世界の産業と人々の生活を支えるエッセンシャルサプライヤーとして、当社の役割を積極的に果たしてまいります。

お客さまと株主の皆さま、そして地域社会に寄与し続けていくためには、持続的な成長が不可欠です。当社はお客さまのご要望やご期待に焦点を合わせ引き続きお客さまのご要望にお応えすることに注力します。企業統治を着実にを行うことで、株主の皆さまにとり良き投資先であり続け、地域社会においても責任を果たしてまいります。

金川経営の継承と皆さまへの感謝

当社の成長を率いてきた前会長の金川が今年の初めに逝去しました。私たちは金川経営を受け継ぎ、常に前を向き力強く歩んでまいります。新任を迎えた取締役会においても、この課題に取り組んでまいります。株主の皆さまからのご信頼とお客さまのパートナーシップに厚く御礼申し上げ、信越化学グループに働く全ての皆さんの仕事への真摯な取り組みに感謝します。